

発生動向の概況

インフルエンザの報告が、第36週6例(A型5例、不明1例)、第37週14例(A型9例、不明5例)と増加しています。第36週には今シーズン(8月31日以降)初めて、松山市内の1施設(済美平成中等教育学校)から学級閉鎖の報告があり、第37週には同施設で学年閉鎖1学年及び学級閉鎖6学級に広がりましたが、現在はすべて解除されています。ウイルス型は、検査を行った6例全てからAH3亜型が検出されました。今のところ他の施設から集団発生の報告はありませんが、集団生活ではこの時期でもインフルエンザが流行することがありますので、外出後の手洗いを心がけ、症状のある方はマスクを着用するなど、まん延防止に努めましょう。

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、第35週0.2人から第36週0.3人、第37週1.1人と急増しています。地域別にみると、今治保健所、松山市保健所で比較的多い状態です。この疾患は、2歳以下の乳幼児を中心に流行し、発熱や鼻汁、咳などが主な症状ですが、時に肺炎などに重症化することがあります。感染経路は、咳やくしゃみなどの飛沫感染と、ウイルスが付着した手指や物を介した接触感染が中心です。感染予防のため、咳などの症状がある人はマスクを着用してください。また、手すり、おもちゃなど手が触れる場所や物をアルコール等の消毒剤でこまめに消毒し、液体せっけんを使用した手洗いを励行しましょう。

手足口病の定点当たり報告数は、第36週4.8人、第37週4.2人と高い状態が続いています。特に松山市保健所、中予保健所で依然として多発しています。本疾患は、例年では患者数が減少してくる時期ですが、全国的にも報告数が多い状態が続いています。感染予防のために、手洗いを励行するとともに、タオルやコップの共用は避けましょう。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症

二類感染症 : 結核 6例

五類感染症 : アメーバ赤痢 1例(50歳代男性)

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例(60歳代男性)

クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性プリオン病古典型、70歳代男性)

定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
インフルエンザ	↗ 0.2	松山市を中心に増加。松山市内の1施設で集団発生の報告あり。
RSウイルス感染症	↗ 1.1	急増。今治保健所、松山市保健所で比較的多い。
感染性胃腸炎	→ 4.0	ほぼ横ばい。西条保健所、松山市保健所で比較的多い。
手足口病	→ 4.2	ほぼ横ばい。松山市保健所、中予保健所で多発。

解析評価委員のコメントから

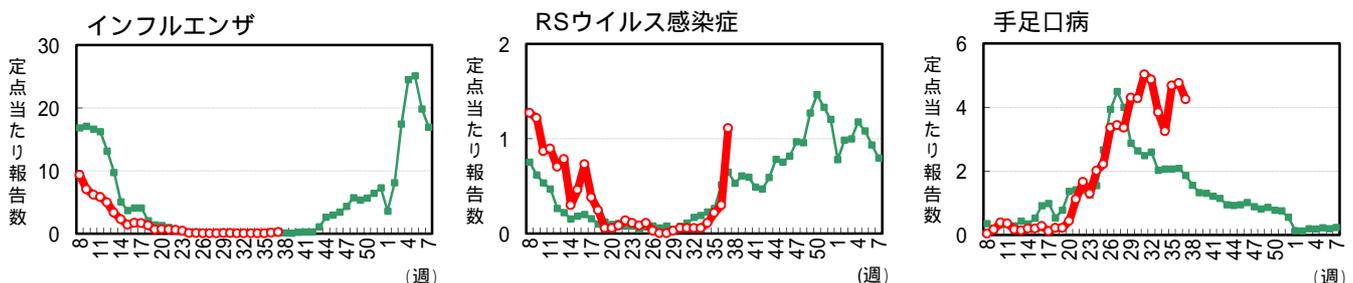
インフルエンザ : [中予] A型の集団発生がみられ、その兄弟がかかった例も報告されています。

RSウイルス感染症 : [東予] 今治市でみられるようです。 [中予] 少し増加しています。

手足口病 : [東予] 減少していたのですが、また乳幼児で流行ってきました。

[中予] 流行しています。発疹はごく軽度のものから、大きな水疱が多発するものまでいろいろみられます。 [南予] 八幡浜で多発しています。宇和島ではみられません。

過去30週の動向 (○ : 過去30週の動向、● : 過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.jp までお願い致します。

病原体検出情報

平成 27 年 9 月 15 日現在

感染症流行予測調査事業の1つであるブタの日本脳炎ウイルス抗体検査の結果を右表に示しています。

第34週から第36週に松山市及び西条で採取された手足口病及び発疹症患者検体からコクサッキーウイルスA(CA)6型が3例、CA16型が1例検出されています。また、松山市で採取された流行性角結膜炎患者検体からアデノウイルス56型、不明熱患者検体からアデノウイルス2型、下気道炎患者検体からRSウイルスが各1例検出されています。

感染性胃腸炎では、第34週から第36週に採取された検体からノロウイルスGIが2例、下痢原性大腸菌が1例検出されています。

愛媛県におけるブタの日本脳炎ウイルス抗体保有状況

採血月日	検査頭数	HI抗体 ¹⁾ 陽性数	2ME感受性抗体 ²⁾	
			検査件数	陽性数
7月 7日	10	1(10%)	-	-
7月 13日	10	0	-	-
7月 21日	10	0	-	-
8月 4日	10	0	-	-
8月 18日	10	0	-	-
8月 24日	10	0	-	-
9月 8日	10	0	-	-

1) ブタが日本脳炎ウイルスに感染した事があるかがわかります。HI抗体価が1:10以上を陽性としました。

2) 最近感染したかどうかわかります。検査はHI抗体価が1:40以上の検体について実施します。

過去 5 週 検出病原体

(2015年8月10日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検 体	例数
33	8/10~8/16	松山市	不明熱	エコー 25	咽頭ぬぐい液	1
				アデノ 4	咽頭ぬぐい液	1
			感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞 便	1
				ノロ	糞 便	1
34	8/17~8/23	松山市	手足口病	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1
			流行性角結膜炎	アデノ56	結膜ぬぐい液	1
			不明熱	アデノ 2	咽頭ぬぐい液	1
			感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞 便	1
				ノロ	糞 便	1
35	8/24~8/30	松山市	発疹症・不明発疹症	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	2
36	8/31~9/6	西条	手足口病	コクサッキーA16	咽頭ぬぐい液	1
		松山市	下気道炎	RS	咽頭ぬぐい液	1
			感染性胃腸炎	ノロ	糞 便	1

月別病原体検出結果

検体採取月	2015							合計
	4	5	6	7	8	9		
検出病原体	4	5	6	7	8	9		
ウイルス	コクサッキーA6		3	3	8	5		19
	コクサッキーA9				1	1		2
	コクサッキーA10	2	2	7	6			17
	コクサッキーA16	1		4	1		1	7
	コクサッキーB4				1			1
	コクサッキーB5				1			1
	エコー25					1		1
	ライノ		2	4	6	2		14
	インフルAH3				1			1
	RS						1	1
	ノロ	6	5	18	8	7		44
	サボ	4	5	20	10			39
	ロタ	8	2	2				12
	アストロ	2	2	8	4	2		18
	アデノ		1	2	1			4
	アデノ2					1		1
	アデノ3			1				1
	アデノ4			1		2		3
アデノ54				1			1	
アデノ56					1		1	
ウイルス計	23	22	70	49	22	2	188	
細菌	下痢原性大腸菌		1	5	4	2		12
	サルモネラ O7			1				1
	サルモネラ O9		1					1
細菌計		2	6	4	2		14	

臨床診断別検出結果 (2015年7月以降採取検体)

検出病原体	インフル	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	流行性角結膜炎	下気道炎	上気道炎	不明熱	発疹症・不明発疹症	合計
コクサッキーA9			2							2
コクサッキーA10							1	5		6
コクサッキーA16			1						1	2
コクサッキーB4							1			1
コクサッキーB5						1				1
エコー25								1		1
ライノ			5	2					1	8
インフルAH3	1									1
RS						1				1
ノロ		15								15
サボ		10								10
アストロ		6								6
アデノ		1								1
アデノ 2								1		1
アデノ 4					1			1		2
アデノ 54					1					1
アデノ 56					1					1
ウイルス計	1	32	18	2	3	2	2	8	5	73
下痢原性大腸菌		6								6
細菌計		6								6

注) 表中の検出数は9月15日集計分であり、その後の検出結果(第37週分含む)は次号以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2015年 第 37 週 (2015.9.7 ~ 9.13)

患者報告数	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点						四国中央 西 条 今 治 松 山 市 中 予 八 幡 浜 宇 和 島 愛 媛 県 1週前 2週前 3週前 年 齢 別 0-5ヶ月 6-11ヶ月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10-14 15-19 20-29 ⁵⁾ 30-39 40-49 50-59 60-69 70-79 ⁶⁾ 80-	
	1) インフルエンザ		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎		1) インフルエンザ(入院)
	迅速検査A型	迅速検査B型																					
四国中央					3	7		3		6		1		-	-							四国中央	
西 条			4		7	40	1	14	1	8		2	1									西 条	
今 治	1	1	8		10	8	2	11	4	7		1	1		7							今 治	
松 山 市	11	7	25	2	22	68	4	90	3	9	1	10	2		3	-	-	-	-	-	-	松 山 市	
中 予	2	1	3		33	13	1	23		1	4	4	4									中 予	
八 幡 浜					4	6		13	1	4		11	2		8							八 幡 浜	
宇 和 島			1			5	1	3		3		1										宇 和 島	
愛 媛 県	14	9	41	2	79	147	9	157	9	38	1	30	10		18							愛 媛 県	
1週前	6	5	11	5	77	176	5	176	11	28	1	47	14		14				3			1週前	
2週前			8	10	74	171	10	173	3	30		48	12		12		1					2週前	
3週前	1	1	4	10	53	181	25	120	9	45	1	65	10		18				2			3週前	
0-5ヶ月			8				1	2		2												0	
6-11ヶ月			4	1		11		19		16		5										1-4	
1			14	1	1	21		64		17		11			2							5-9	
2			10		6	19	1	30	2	2		2	1		1							10-14	
3			1		5	13	1	17	2	1		5	1		1							15-19	
4			2		12	19	2	11				6										20-24	
5			2		16	14	1	9	3				2									25-29	
6			2		14	11	3	1					2		1							30-34	
7					7	6		1				1	2									35-39	
8	1				4	6			2													40-44	
9	1				4	4							1									45-49	
10-14	6	4			10	16		1			1		1									50-54	
15-19	5	4				2		1							1							55-59	
20-29 ⁵⁾						5		1							4							60-64	
30-39															1							65-69	
40-49																						70-	
50-59	1	1													1								
60-69															3								
70-79 ⁶⁾															3								
80-															3								

定点当たり報告数

四国中央		-	-		1.0	2.3		1.0	2.0		.3		-	-								四国中央
西 条		-	-	.7	1.2	6.7	.2	2.3	.2	1.3		.3	.2									西 条
今 治	.1	-	-	1.6	2.0	1.6	.4	2.2	.8	1.4		.2	.2		7.0							今 治
松 山 市	.6	-	-	2.3	.2	2.0	6.2	.4	8.2	.3	.8	.1	.9	.2	1.0	-	-	-	-	-	-	松 山 市
中 予	.3	-	-	.8	8.3	3.3	.3	5.8		.3		1.0	1.0									中 予
八 幡 浜		-	-		1.0	1.5		3.3	.3	1.0		2.8	.5		8.0							八 幡 浜
宇 和 島		-	-	.3		1.3	.3	.8		.8		.3										宇 和 島
愛 媛 県	.2	-	-	1.1	.1	2.1	4.0	.2	4.2	.2	1.0	.0	.8	.3	2.3							愛 媛 県

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
 *インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定 点	数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点		61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点		37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点		8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点		6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は9月16日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2015年 第36週 (2015.8.31 ~ 9.6)

患者報告数	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点						四国中央 西条 今治 松山市 中予 八幡浜 宇和島 愛媛県 1週前 2週前 3週前 年齢別					
	1) インフルエンザ		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎		1) インフルエンザ(入院)				
	迅速検査A型	迅速検査B型																									
四国中央				1	4	14		7		1		1			-	-											四国中央
西条				1	8	57	1	7	2	8		2	1		2												西条
今治					5	14	3	26	3	5		9	1		5												今治
松山市	3	3		10	1	19		76	3	11		17	3		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	松山市	
中予	3	2		1	2	36		33	3	3		3	1		1											中予	
八幡浜						2		22				13	8		3									3		八幡浜	
宇和島						3	2	1	5		1	2														宇和島	
愛媛県	6	5		11	5	77	176	5	176	11	28	1	47	14		14								3		愛媛県	
1週前				8	10	74	171	10	173	3	30		48	12		12			1							1週前	
2週前	1		1	4	10	53	181	25	120	9	45	1	65	10		18								2		2週前	
3週前	1		1	2	14	46	180	8	142	4	22		76	12		11										3週前	
0-5ヶ月							2		2		1	1														0	
6-11ヶ月				2		2	14		18		11		6													1-4	
1				6	2	3	25	2	63	1	13		15											2		5-9	
2				3		5	27	1	40		1		6	1										1		10-14	
3						8	27		26	2	2		6	1												15-19	
4						11	18	2	17	3			6	6												20-24	
5					1	16	13		7	3			3	3												25-29	
6					2	10	11		3	1			2	1												30-34	
7						7	7			1			1			1										35-39	
8						4	6						1													40-44	
9						3	4						1	1												45-49	
10-14	6	5				6	13						1			1										50-54	
15-19							1									1										55-59	
20-29 ⁵⁾						2	8							1		1										60-64	
30-39																3										65-69	
40-49																2										70-	
50-59																3										70-	
60-69																3										70-	
70-79 ⁶⁾																2										70-	
80-																										70-	

定点当たり報告数

四国中央		-	-	.3	1.3	4.7		2.3		.3		.3		-	-												四国中央
西条		-	-	.2	1.3	9.5	.2	1.2	.3	1.3		.3	.2		2.0												西条
今治		-	-		1.0	2.8	.6	5.2	.6	1.0		1.8	.2		5.0												今治
松山市	.2	-	-	.9	.1	1.7	7.2		6.9	.3	1.0		1.5	.3	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	松山市
中予	.4	-	-	.3	.5	9.0	1.3		8.3	.8	.8		.8	.3	1.0												中予
八幡浜		-	-			.5	1.3		5.5				3.3	2.0	3.0									3.0			八幡浜
宇和島		-	-			.8	.5	.3	1.3			.3	.5														宇和島
愛媛県	.1	-	-	.3	.1	2.1	4.8	.1	4.8	.3	.8	.0	1.3	.4	1.8									.5			愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
 - 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 - 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
 - 4) オウム病を除く。
 - 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。
 - 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
- *インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定 点	数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点		61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点		37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点		8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点		6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は9月9日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症（月報） 2015年8月

患者報告数		STD定点									基幹定点							
		性器クラミジア感染症			性感器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症				メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	
		総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性					
保健所別	四国中央	3	3		1	1							7				四国中央	
	西条																	西条
	今治							1	1			1	1	5			1	今治
	松山市	5		5				1		1		1	1	-	-	-		松山市
保健所別	中予	1	1									1	1					中予
	八幡浜 宇和島												2					八幡浜 宇和島
月推移	愛媛県	9	4	5	1	1		2	1	1		3	3	15			1	愛媛県
	1月前	11	8	3	4	3	1	2	2			4	3	7				1月前
	2月前	10	4	6	3	3		3	2	1		4	3	10				2月前
	3月前	10	6	4	5	4	1	2	2			2	2	14				3月前
年齢別	0													1				0
	1-4													4				1-4
	5-9																	5-9
	10-14													2				10-14
	15-19	1		1				2	1	1								15-19
	20-24	2	1	1														20-24
	25-29				1	1												25-29
	30-34	2	2															30-34
	35-39	2		2								1	1					35-39
	40-44	2	1	1								1	1					40-44
	45-49																	45-49
	50-54																	50-54
	55-59											1	1					55-59
	60-64																	60-64
65-69																	65-69	
70-													8			1	70-	

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	3.0	3.0		1.0	1.0							7.0				四国中央	
	西条																	西条
	今治							1.0	1.0			1.0	1.0	5.0			1.0	今治
	松山市	1.3		1.3				.3		.3		.3	.3	-	-	-		松山市
保健所別	中予	1.0	1.0									1.0	1.0					中予
	八幡浜 宇和島													2.0				八幡浜 宇和島
愛媛県		.8	.4	.5	.1	.1		.2	.1	.1		.3	.3	2.5			0.2	愛媛県

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
S T D 定 点	11	1	2	1	4	1	1	1
基 幹 定 点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は9月9日集計分であり、その後の報告は翌月以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 2015年 第35、36週 (2015.8.24 ~ 9.6)

(定点当たり報告数)

	1) インフルエンザ	小児科定点											眼科定点		基幹定点					
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎	
愛媛県		.2	.3	2.0	4.6	.3	4.7	.1	.8		1.3	.3		1.5		.2				
近畿県	香川県	.2	.4	1.1	3.1	.2	6.8	.5	.8	.1	1.6	.2	.4	.6			.2	1.0		
	徳島県	.8	.1	.9	3.8	.3	9.3	.2	1.0		1.2	.1					.1			
	高知県	.0	.9	.1	.8	1.7	.3	3.8	.1	.4	2.4	.4		.3			.3	1.3	.1	
35 週	全 国	.1	.5	.4	1.2	3.1	.2	5.7	.5	.6	.0	1.5	.5	.0	1.1	.0	.0	.1	.5	.0
週	北海道	.0	.4	.3	2.3	1.2	.1	8.2	.6	.4	.0	2.7	.5		.6	.0	.0	.1	.6	
	東北	.0	.6	.3	1.2	2.2	.3	10.7	.4	.5	.0	2.2	.3		.6	.0	.0	.0	.4	
	関東	.0	.3	.3	1.1	2.9	.2	5.6	.5	.6	.0	1.3	.6	.0	1.2		.0	.1	.4	.0
	甲信越北陸	.0	.3	.3	1.3	2.8	.2	9.7	.5	.5	.0	2.8	.5		.6		.0	.1	.5	.1
	東海	.1	.2	.3	1.1	2.7	.3	3.4	.6	.6	.0	.9	.3	.0	.3		.1	.1	.8	
	近畿	.0	.2	.5	1.0	3.1	.2	4.2	.5	.6	.0	1.2	.3	.0	.7	.0		.1	.5	.0
	中国四国	.0	.8	.3	1.5	3.8	.2	4.4	.3	.7	.0	1.4	.5	.0	1.1		.0	.1	.4	.0
	九州沖縄	.3	1.8	.6	1.3	4.5	.2	4.4	1.0	.7	.0	1.1	.9	.1	3.1		.0	.1	.4	

(9.2集計)

愛媛県	.1	.3	.1	2.1	4.8	.1	4.8	.3	.8	.0	1.3	.4		1.8				.5		
近畿県	香川県	.2	.4	1.0	3.0	.1	6.3	.3	.7	.1	1.2	.3		.4				1.4		
	徳島県	.0	1.3	.1	.9	3.0	.4	7.2	.1	.7		1.2	.2							
	高知県		1.4	.1	1.4	2.2	.2	4.1	.1	.2		2.2	.5					.1	1.9	.1
36 週	全 国	.1	.7	.4	1.4	3.4	.2	5.1	.6	.6	.0	1.2	.5	.0	1.1	.0	.0	.1	.5	.0
週	北海道	.0	.5	.3	2.8	1.3	.1	6.8	.5	.4		2.4	.5		.4	.0			.7	
	東北	.0	.8	.2	1.5	2.1	.2	10.2	.6	.6	.0	2.0	.3		.6		.0	.0	.4	.0
	関東	.0	.4	.3	1.3	3.3	.3	5.0	.6	.7	.0	1.1	.4	.0	1.1	.0	.0	.1	.4	.1
	甲信越北陸	.0	.3	.3	1.4	3.2	.2	8.3	.3	.6	.0	2.0	.6	.0	.5		.0	.1	.4	.0
	東海	.0	.3	.3	1.4	3.0	.3	3.5	.6	.5	.0	.8	.3	.0	.3			.1	.8	
	近畿	.0	.3	.5	1.1	3.6	.2	3.6	.5	.5	.0	.8	.3	.0	1.1	.0	.0	.0	.5	
	中国四国	.0	1.1	.2	1.6	3.8	.2	4.2	.3	.6	.0	1.2	.5		1.1			.1	.4	.0
	九州沖縄	.3	1.8	.5	1.6	5.0	.3	4.0	1.0	.8		1.0	1.0		2.9		.0	.1	.6	.0

(9.9集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

